

令和6年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	77 定	学 校 名	浜松大平台高等学校（定時制）	記 載 者	左 口 邦彦
------	------	-------	----------------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	学習指導法の改善に取り組み、学力の充実を図る。	授業アンケートで「授業がわかる」率、「授業が楽しい、充実している」と感じる率を 80%以上とする。 基礎学力試験・適性検査を授業改善に生かしたと答える教員 100%。 研究授業を相互に参観する。（1人2回以上）	A	A	・充実した授業が日々行われていることが分かります。先生方の工夫ある授業づくりに感謝です。 ・先生方の努力がうかがえる成果だと思います。 ・先生方の工夫と丁寧な指導がうかがえる。
	望ましい勤労観を育成し、主体的に進路の実現に向かって努力できるようにする。	進路だよりを定期的に（年9回）発行する。 進路意識向上のために効果的な進路行事を企画する。	A	A	・実施したことが生徒さんにどのように効果を与えたのかが示されると、そちらを目標に定められて良いように思います。
イ	基本的生活習慣を確立させるとともに、社会におけるルールやマナーを理解させる。	オープンキャンパスや職場見学に参加するなど、自らの進路決定に積極的に行動する生徒を増加させる。	A	A	・外部との連携が積極的に行われていることがよくわかります。 ・発信力のさらなる強化を。
		遅刻に対する共通理解のもと、学校全体で遅刻指導をし、基本的生活習慣の改善を図る。	B	B	・遅刻・怠業の減少は、これまでの取り組みの成果ですね。 ・大学生の場合、遅刻・中抜け・早退・（＋欠席）の多さは、そのまま学びの動機づけ（モチベーション）のバロメーターですが、高校ではどうでしょうか。
		授業や行事等あらゆる機会を通じて指導する。 ネットトラブルの重大性を認識させ、未然に防ぐ。	B	B	・自分事として捉えさせながら、今後も指導を充実させてほしいと思います。 ・深刻なトラブルの事例が多いので、規範意識の育成はぜひ力を入れてください。

		部活動入部率 25%以上を目指す。 部員が満足と感じる率を 70%以上とする。	B	B	・満足度がさらに高まるといいですね。 ・中学までの部活動の位置づけが変わる中、今後ますます入部しない方は増えるのではと思います。「この部に入りたくて大平台に入学した」生徒を大切にしたいですね。 ・生徒はどんな部活を望んでいるか、新しい発想も必要では。
		校内での挨拶を励行し、挨拶する習慣を身につけさせる。	B	B	・「教員からあいさつ」とても良いスタンスだと思います。
ウ	個々の生徒に応じた支援を行い、円滑に学校生活を送ることができるようにする。	S CやS S Wなどの専門家、外部機関、校内関係者がチームを作り、連携して支援する。 支援を必要とする生徒についての情報共有や事例検討の会を適宜実施する。また、特別支援教育に関する校内研修を実施する。 いじめの事前防止、早期発見、対処のために、基本的な方針に基づき組織的に対応する。	B	B	・個々の特性や背景が様々な中の対応は、大変だと思います。それらを理解したうえで寄り添いを大切にしてください。 ・定時制の生徒さんは特に色々と抱えている方が多いと聞きますが、本当に親身に対応されていると思います。外部機関をうまく活用し、外につなげて学校外の世界(社会)の中で生きる術を育ててください。 ・学校だけでなく、地域社会との連携は大切。
エ	読書指導により、読書量の増大、質の向上に努める。	読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握する。生徒からのリクエストを選書に反映する。新着図書案内を発行し読書意欲を喚起する。	B	B	・全日制と同じく、生徒さんの生活にゆとりがあると良いと思います。 ・ビブリオバトルとか、「読んでみたい」と思わせる手立てを講じるのはいかがでしょうか。 ・アンケートで生徒が望んだ分野とは。
	自分の意見を表現する機会を増やす。	ワークシートへの記入やペア活動・グループ活動を行う授業を増やす。	A	A	・端末使用の度合いがさらに高まっていくと思います。 ・意見表明は社会で重要です。おとなしい生徒さんこそ、高校のうちに少しでもできるようになってもらいたい。
オ	安全・安心に対する意識を高めるとともに、教育環境の整備に努める。	交通安全教室を実施するだけでなく、日常的に交通安全指導をする。重大事故ゼロをめざす。また、総事件数を前年度より	B	B	・事故ゼロ達成、素晴らしいですね。自転車登下校の安全強化をさらにお願いします。 ・大きな事故につながらないように。 ・交通ルールを守る人が多くなっ

		減少させる。			た。
		健 診 の 受 診 率 100%を目指す。 朝食摂取調査等を実施し、関係者間で情報共有をし、有効に活用する。 保健だよりを定期的に発行する。	A	A	・保護者との連携も意識しながらお願いします。 ・学校外での(主に家庭での)生活習慣を変えるのは、とても大変かと思います。でも、高校しかそれを教える場所がないなら、伝え続けるしかないのが難しいですね。 ・そういう子が「朝食の大切さ」の研究、学習発表をテーマにするよう誘導できませんか。
		危機管理マニュアルを定期的に見直す。実践的な防災訓練を実施する。	A	A	・職員のための訓練はどうでしょうか。 ・南海トラフが叫ばれる。いつ・どこでも、どうするかの発想を。
		保健課の安全点検、職員安全衛生委員会の職場巡視を実施し、迅速に修繕や対応をする。 PFI 担当者や外部施設利用者との連絡を密にする。	A	A	・防災訓練は、今後もぜひ実践的な実施をしてください。
カ	単位制による定時制の課程特有の諸制度を活用し、魅力的な学習環境を整える。	教育課程等を見直し、改善する。生徒個々の進路希望、興味、関心に応じた適切な履修指導を行う。	B	B	・生徒さんの興味・関心の幅を広げる方策にも取り組めると良いと思います。 ・PC のひとり一台が、所有ではなく貸出であるのは、慣れないし卒業後にまた使わなくなったりすると残念ですね。 ・パソコン・タブレット、もはや必需品か。
	魅力的な学習環境を積極的に広報する。	ホームページの内容を充実させ、更新回数を増やす。 学校説明会や個別学校見学等できめ細かな対応をする。	A	A	・更新大変ですよ。ありがとうございます。千人達成すると良いです。 ・SNS は、発信者が偏らないことはとても大切だと思います。「一部の職員」がもう少し広がったり、時には生徒が投稿したりと、活用されると良いですね。 ・特に若い先生に活躍を期待します。
キ	本校の教育活動に関する情報を的確に発信することで、保護者や地域からの信頼を得る。	「桑の木だより」を年2回発行する。 外国にルーツを持つ保護者に対して翻訳、通訳などの配慮をして本校教育の理解を得る。	A	A	・情報発信ありがとうございます。

ク	事務部及び教務部との連携を一層強化し、充実した教育活動が行われるための環境を整える。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。節約した予算を教育活動に振り分ける。	B	B	・できる限り取り組むしかないですよ。 ・学校内のみでは節約しかできず県等からの補助はないものかと切実に思います。どうにかならないものなのでしょうか。 ・物価高騰の中、予算措置も必要か。
	職員のワークライフバランスを改善する。	月間の時間外勤務80 時間以上の職員をゼロにする。	A	A	・さらに進めていけるよう、業務内容の点検・見直しを。 ・「休み」の発表にもありましたが良い働き方で良い人材が力を発揮できるように期待します。